



平成 18 年度動物衛生試験研究成績・計画検討会の概要

平成 18 年度試験研究成績・計画検討会が平成 19 年 1 月 5 日～12 日に本所大会議室にて開催され、平成 18 年度実施課題、平成 19 年度新規提案課題(所

内プロジェクト研究を含む)、平成 18 年度動物衛生研究成果情報候補課題についての検討が行われた。(企画チーム)

(研究チーム)	(開催日時)	(参加者数)	(検討課題数)
生産病研究チーム	1 月 5 日 (金) 9:00～12:00	19 名	18 課題
人獣感染症研究チーム	1 月 5 日 (金) 13:00～17:30	23 名	27 課題
プリオン病研究チーム	1 月 9 日 (火) 13:00～19:00	20 名	25 課題
疫学研究チーム	1 月 10 日 (水) 9:00～12:00	21 名	17 課題
ウイルス病研究チーム	1 月 10 日 (水) 13:00～15:00	16 名	10 課題
安全性研究チーム	1 月 10 日 (水) 15:00～17:50	18 名	17 課題
細菌・寄生虫病研究チーム	1 月 11 日 (木) 9:00～12:00	20 名	24 課題
ヨーネ病研究チーム	1 月 11 日 (木) 13:00～15:00	31 名	14 課題
次世代製剤開発チーム	1 月 11 日 (木) 15:00～17:30	19 名	18 課題
国際重要伝染病研究チーム	1 月 12 日 (金) 9:00～12:00	21 名	13 課題
環境・常在疾病研究チーム	1 月 12 日 (金) 13:00～17:00	34 名	31 課題

平成 18 年度動物衛生試験研究推進会議の概要

平成 18 年度動物衛生試験研究推進会議が、平成 19 年 2 月 16 日(金)に当所講堂において開催された。参加者所属部局(人数)は以下のとおりである。

社団法人畜産技術協会(外部委員:1)、農業生物資源研究所(外部委員:1)、農林水産省農林水産技術会議事務局(1)、同省消費・安全局(1)、同省動物検疫所(1)、同省動物医薬品検査所(2)、農業・食品産業技術総合研究機構(1)、中央農業総合研究センター(1)、畜産草地研究所(1)、食品総合研究所(2)、東北農業研究センター(1)、近畿中国四国農業研究センター(1)、九州沖縄農業研究センター(1)、農業生物資源研究所(1)、農業環境技術研究所(1)、家畜改良センター(1)、肥飼料検査所(1)、北海道立畜産試験場(1)、栃木県県央家畜保健衛生所(2)、群馬県家畜衛生研究所(2)、島根県農林水産部(2)、沖縄県家畜衛生試験場(1)、動物衛生研究所(28)、以上 55 名。

1. 動物衛生研究をめぐる情勢

当所企画管理部長から、最近の家畜疾病発生の動向をもとにした動物衛生研究の取り組みについて説明された。今年度の特記すべき事項として、平成 18 年 9 月以降南九州を中心に多発したアカバネウイルスによる牛の中樞神経麻痺への対応、平成 19 年 1 月に宮崎県及び岡山県で発生した高病原性鳥インフルエンザへの対応、プリオン病の研究拠点として末梢神経におけるプリオンの蓄積などの画期的な成果、豚コレラの清浄性確認への対応についての説明があった。また、第 2 期中期計画において設定した 11 課題と研究組織体制、さらに、研究推進に当たって研究ニーズの的確な把握、産学官連携等の取り組みの強化について説明された後に、討論が行われた。

2. 今年度の研究成果と次年度の研究推進方向

当所の各研究チーム担当の研究管理監・センター

長の進行の下で、それぞれの研究チーム長が人獣感染症研究、ウイルス病研究、国際重要感染症研究、プリオン病研究、細菌・寄生虫病研究、ヨーネ病研究、次世代製剤開発、環境性・常在性疾病研究、疫学研究、生産病研究、安全性研究における第2期中期計画、本年度の研究成果、次年度の推進方向を説明し、討論が行われた。

3. 重点研究推進方向

当所の研究調整役から、平成18年度プロジェクト研究実施状況と、平成19年度から実施が予定されている機構運営費交付金プロジェクト研究「口蹄疫・豚コレラの侵入・拡大防止と清浄性維持に関わる防疫手法の開発」の概要が説明された。また、従来の所内プロジェクトを拡充強化し、平成18年度から当所における重点強化研究を実施していることが紹介された。担当研究管理監からは、平成20年度以降の農林水産省委託プロジェクト研究につなげるため、生物系特定産業技術研究支援センター主催で開催した2件のシンポジウム「人獣共通感染症－動物に潜む病原体を探る」、「技術が開く家畜疾病防除対策の新展開」の概要が紹介された。さらに、プ

リオン病研究センター長が「先端理工学技術を活用したBSE等プリオン病征圧のための技術開発に関するアセス調査」の概要を紹介し、引き続き討論が行われた。

4. 主要研究成果の検討、評価、採択

当所の各研究チーム担当の研究管理監・センター長の進行により、担当研究チーム長が36課題の主要研究成果候補課題について報告し、質疑と評価が行われた。一部の課題については成果情報名、分類、本文等の修正が求められ、修正案を総括推進会議に提案することになった。

5. 連携・協力に関する事項（他機関からの要望事項）

島根県家畜病性鑑定室から出された「信頼性の高いヨーネ病診断用ELISAキットの開発および供給」をはじめ4点の要望事項に対し、当所各担当管理監が対応方針の概要を説明し、関連討議を経て対応方針が了承された。

（企画チーム）

